

貧酸素水塊速報 (2018年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター
 神奈川県水産技術センター
 千葉県農林水産技術会議
 内湾底びき網研究会連合会

【協力】 千葉県環境研究センター
 第三管区海上保安本部
 東京都環境局
 (国)国立環境研究所

○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

平成30年8月30日観測結果

貧酸素水塊は内湾北部から盤洲沖にかけての広範囲に分布しています(図1)。しかし、縦断ラインの鉛直分布によると、貧酸素水塊の厚みは海底から最大5m程と薄く、分布は海底付近に限られているようです(図2)。規模も、8月6日観測の約40%から約9%と急速に縮小し、同じ時期の直近10年平均を大きく下回っています(図3)。

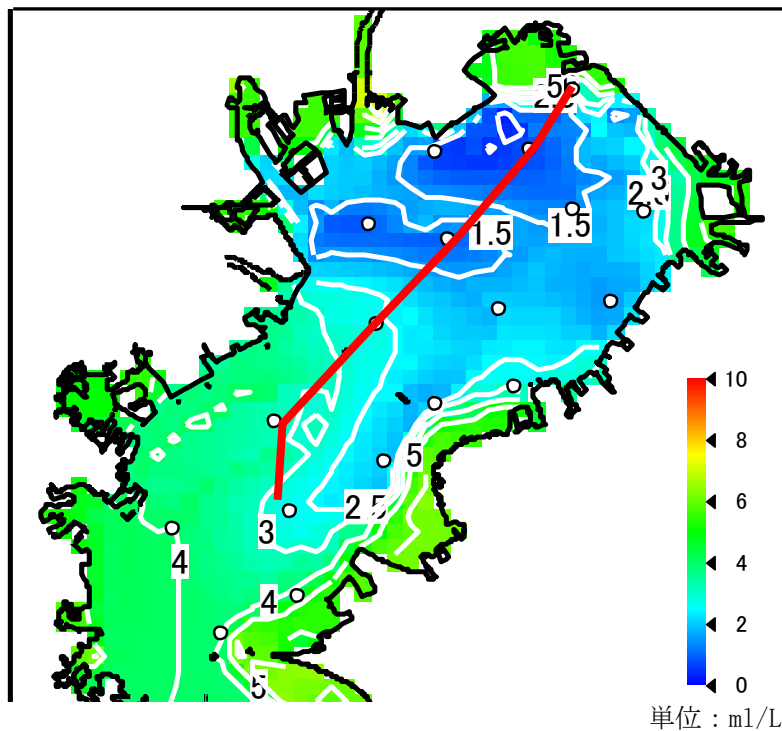


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

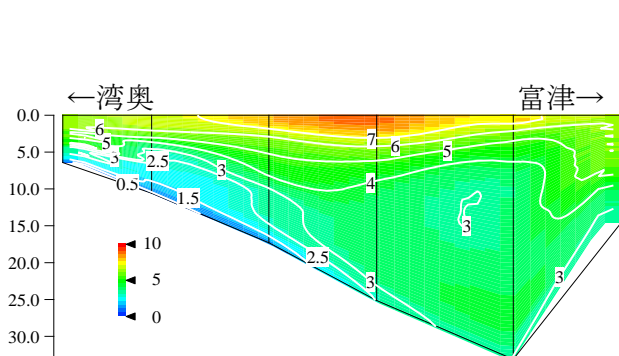


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

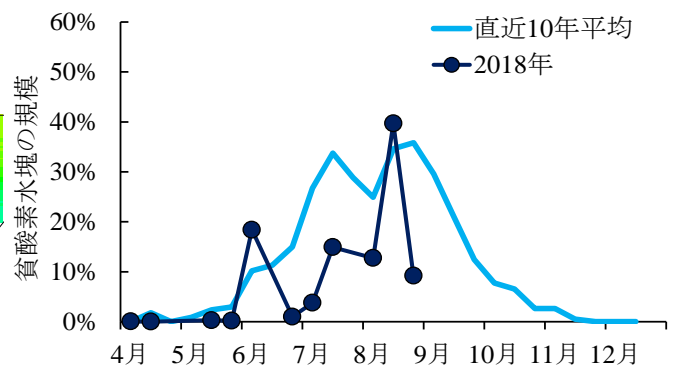


図3 貧酸素水塊の規模
 (左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)